

ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト

教育庁・子ども未来局
連携事業

予算7,877千円

目的

学校・家庭・地域が連携して乳幼児期から思春期に至るまで切れ目のない読書活動を推進し、生涯にわたる読書習慣の形成等を進め、子どもたちの豊かな心や生きる力の育成を図る。

現状

多様な読書活動に取り組む学校の増加や市町村における読書活動が進められているものの、近年の読書をする子どもの割合に大きな変化がないことから、本に親しませる機会の充実や子どもたちの読書習慣の確立に向けた取組が急務となっている。

豊かな心 生きる力の育成

読書活動推進に必要な 人材の確保と育成

- 1 読書活動推進事業 (191千円)
 - 福島県子ども読書活動推進会議の開催 (年2回)
- 2 読書活動支援者育成事業 (1,237千円)
 - 地区別研修 (7教育事務所各2回)
 - 読み聞かせの基礎・基本講座
 - 事例発表



- 3 子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム (221千円)
 - 学校図書館に関する研修
 - 読書活動推進に関する講演

乳幼児期からの切れ目ない 子どもの読書活動の推進

- 高校生 ← 小学生 ← 乳幼児
- 4 情報発信プロジェクト (2,018千円)
 - 高校生によるビブリオバトル福島県大会>
 - 5 子どもの本がたぐすマイルストーンプロジェクト (1,700千円)
 - 親子ふれあい読書フェスティバル>
 - 6 乳幼児期における読書活動推進事業(新規) (2,510千円)
 - **子ども未来局との連携事業**
<市町村への委託事業>
 - 乳幼児健診等における絵本はじめまして事業
 - 保育所・幼稚園等における読み聞かせの充実
 - 読書フォーラムの開催
 - 保護者への啓発活動 県内7市町村への委託

(新) ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業

保健福祉部・教育庁
連携事業

予算13,994千円

医療人としてふくしまの未来を担う夢の実現(地域医療に貢献できる人材の育成)

目的

本県の子どもたちは、大震災及び原子力災害の経験により、命の大切さや多くの支援への感謝を十分に感じ取っており、将来、医療の仕事に携わり、本県の復興及び社会に貢献したいという思いを抱く子どもも多い。そこで、医療関係の様々な仕事の紹介や地域医療現場の視察、体験等を通じ、医療関係の職業へ就いて医療で人々を助けたいと願う子どもたちの夢の実現を後押しするとともに、医療人材の育成を進め、本県地域医療に貢献できる人づくりを推進する。



一部新

メディカルセミナー

教育庁

予算2,318千円

医師及び看護師志望の高校2年生を対象として、県立医科大学及び県内の看護学校等において、最新の医学や地域医療についての講義・講演、実習、県内出身の学生との意見交換等を行い、受験に向けた学習意欲を喚起する。

内容 (1)福島県の医療の現状に関する講義 (2)先進基礎医学及び看護学についての講義 (3)体験実習 (4)上級学校進学に向けた中央講師による講義・演習 (5)学生を交えたディスカッション 等



高校2年生

新

地域医療体験セミナー

教育庁

予算6,147千円

医師及び看護師を始めとするコメディカルスタッフを進路希望とする高校1年生に対して、地域の医療機関において地域医療の現場に触れる機会を設け、各職種の仕事内容の理解と地域医療に貢献する使命感の涵養を図る。

会場 県内6地区における病院(県北、県中、県南、会津、南会津、いわき、相双)
内容 (1)院長等による講演 (2)地域医療の現場見学 (3)医師、看護師、理学療法士等による講話 等



高校1年生

新

医療体験セミナー

教育庁

予算5,529千円

医師や看護師、薬剤師等の医療に関わる職業についての講話や体験を通して、医療に対する興味・関心を高め、職業意識の醸成を図る。

会場 郡山市(ビッグパレット等)
内容 (1)大学教授等による模擬講座 (2)医療に関わるワークショップ 等

より深い体験

新 医療人を志す子どもの夢応援事業

保健福祉部

予算3,498千円

「人体のしくみ・健康・病気のなぞ」について、医療機器の体験学習を重視した少人数の『医学教室』を開催する。

会場 会津・中通り・浜通りの各地域で開催
内容 医療機器(エコーなど)を使った体験学習



中学生

ふくしま放課後いきいき活動支援事業

平成28年6月10日

趣旨・目的

本県独自に知事部局と教育委員会が連携し、放課後活動における学習支援等の活動内容を充実させるための取組を実施することにより、本県児童の学力や体力向上を図る。
 県予算額9,780千円

事業の概要

放課後活動を充実させるため、モデル事業として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の共通活動において、学習支援及び体験活動を行う。

放課後児童クラブ（生活の場）
 【こども未来局所管】

<放課後児童クラブにおける連携の効果>

- 生活の場における、学習支援・体験活動の実施
- 学校との情報共有、連絡体制の強化

共通活動の実施（連携）

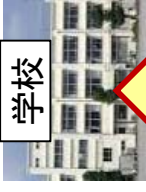
放課後子ども教室（学習・体験活動の場）
 【教育庁所管】

<放課後子ども教室における連携の効果>

- 学習支援・体験活動の更なる充実
- 児童クラブとの多様な交流による規律意識等の醸成

参加

参加



学校

情報共有の強化

【学習支援・体験活動充実事業】

- 1 学習支援
 サポートティーチャー等派遣による学習支援の実施（週1回程度）

- 2 体験活動プログラム作成・普及

- (1) モデルプログラム作成委員会設置
 活動プログラムの作成及び連携強化に向けた検討
- (2) 体験活動の実施（週1回程度＋長期休暇3回程度）
 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の共通体験活動を実施

【活動例】

- ・キンボール（スポーツ活動分野）
- ・太鼓、琴（伝統文化継承分野） など



イメージ



イメージ

効果

放課後活動を通じた本県児童の学力や体力の向上